

第1回策定委員会の論点整理

	委員からの主な意見等	対応策等
運営形態	<p>医師会としての要望は、公設民営方式による建替えである。</p> <p>医師会の会員減(弱体化)も見込んだ計画にしてほしい。</p> <p>赤字にならないような病院運営を検討する必要がある。</p>	<p>事務局としては、病院の公設化は考えておらず、施設整備後においても、引き続き医師会立の病院として運営・存続していただきたいと考えている。</p> <p>医師会の弱体化も踏まえ、新病院が、長期にわたり、安定した運営が可能となる施設となるよう検討を進める。</p>
施設規模	<p>病床稼働率85%は低いのではないか。病棟の看護体制等も考慮するべきではないか。</p> <p>病院の規模等については、複数パターンの試算を示してほしい。</p>	施設規模の案については、病床数、病棟数などについて、複数のパターンを示した上で、看護体制、病床利用率、収支等の詳細な試算を行う。
財 源	<p>建設費の財源がなければ成り立たない。そこはどうなるのか。</p> <p>利用できる財源の一覧が欲しい。</p> <p>医師会が、整備費用を負担しなくてもいいようにしてほしい。</p>	<p>財源については、過疎対策事業債を柱に、病院新築等に利用可能な補助金等の活用を最大限図っていくこととする。</p> <p>また、国、県とも連携を図りながら財源の確保に努めることとする。</p> <p>なお、病院整備費用について医師会負担は、原則求めないこととするが、既存施設の解体等、可能なものについては、負担をお願いしたい。</p>
住民意見	住民の意見を計画に反映できるようにしてほしい。	素案等の段階において住民意見の聴取を行い、計画への反映を検討する。
その他	今回の事業の責任者は誰になるのか。	今回の再整備事業の実施責任者は、一義的には今後検討・決定される実施主体(医師会or行政)となるが、事業の実施に当たっては、引き続き、三者で連携して取り組んでいくものと考えている。